

はばたけ

第72号

2007年1月1日発行
栃木障害者の自立をめざす会
会長代行 小島 幸子
事務局：〒328-0003
栃木市大光寺町 347-2
Tel 0282-29-6111

私たちは障害者が生まれた地域で生き生きと働き生活していける村作りをめざします。

新年のあいさつ

会長 小島 幸子

会員の皆様、あけましておめでとうございます。昨年は、大変お世話になりありがとうございました。今年もどうぞよろしく願いいたします。

昨年は、4月29日に自立をめざす会の設立20周年記念式典を栃木市の日向野市長を来賓に迎え盛大に執り行うことができました。記念誌編集委員が限られた予算の中で東奔西走し原稿や写真を集め、また、地域や関係の皆様から広告をいただいてこの20年の足跡を振り返った大変立派な記念誌ができあがりました。大勢の方に誉めていただき大変嬉しく思っております。

さて、自立をめざす会の20周年は奇しくも障害者自立支援法の施行の年でもありました。浅学な私は、つい最近まで国の出した法律に誤りがあるなどというようなことはわかりませんでした。この法律の理念は正しいが障害者の応益負担など見直しをしなければならないのは急務です。10月から完全施行されたにもかかわらず国は、補正で予算を組まなければならない状況です。地方自治体では、独自に減免策をとっているところもありますが地域格差が大きく、首長の考えひとつになっています。また、県は調整機能を持たず単に通過機関になっていることにも問題はあります。すぐに補正を組むのならどうして十分な討議がされなかったのでしょうか？私たちは引き続きこの問題を他の障害者団体と一緒に考えていきたいと思えます。

ところで最近私は、ある方から「なすびの里っていつもお金のない話ばかりで暗くなるよね」といわれました。なすびの里を支える自立をめざす会もイベントでいつもバザーなどをしているので「大変だ」「暗い」というイメージなのでしょう。私たちは反省しなければならないかも知れません。イベントでもっと楽しく活動できないだろうか・・・バザーでは利益を得るのはもちろんですが山車会館前の商連のにぎわい出しイベントでは、おまつりのにぎわいに一役かって他の団体の皆さんと同じように栃木の街づくりに貢献していると思っています。また、街なかに出ることによって市民の皆さんに自立をめざす会、なすびの里の存在が浸透してきているということは、障害者が地域で当たり前生きていくという私たちの目的にかなっているのです。また、なすびの里に来て仲間一人一人をみていただければ決して暗いなどとは感じられないと思えます。私が特に感じたのはなすびの里の5周年の時に発表した各作業班のプロモーションビデオ？です。編集もいいのですが仲間一人一人の表情のいいこといいこと！笑顔笑顔・・・養護学校での理事長の説明よりこのビデオのほうが受けはいいと思えます。

まとまりのない話ではありますが、今年は是非、自立をめざす会ってなんか楽しそうじゃない、一生懸命やってるから少し手伝おうかしらって思う方が一人でも増えることを願って年頭のあいさつといたします。

栃木障害者の自立をめざす会20周年記念式典

本間 英樹

皆様のあたたかいご支援をいただきながら、自立の会も今年で20周年を迎えることができました。これを記念して、4月29日に栃木市文化会館小ホール等で記念事業を行いました。



挨拶をする小島幸子会長



日向野市長よりご祝辞

第1部の定期総会では、20年の歩みを振り返るとともに今後の展望を打ち出し、多大な支援をいただいた方々に対して表彰・感謝状の授与が行われました。

第2部ではまず小島幸子会長より挨拶があり、栃木市長日向野氏、栃木市社会福祉協議会会長関口氏よりご祝辞をいただきました。栃木市は他市と比べても障害者福祉に積極的な支援を推進しており、祝辞でも心強いエールに励まされました。そしてきょうされん理事藤井克徳氏による「障害者自立支援法とこれからの障害者福祉」という演題での記念講演。障害者福祉の歴史的な転換期をどう受け止め、今後何をしなければならないのか等、運動の先頭に立つ立場から、わかりやすく具体的なお話でした。

第3部は、ホテルサンルートにて記念パーティーが開かれ、利用者も交えながら歌あり、エレクトーン演奏あり、車椅子ダンスありの楽しいパーティーで盛り上がりました。

20周年という節目の今年は、障害者自立支援法スタートの年となりました。厳しい時代だからこそ、広い範囲で団結できる自立の会の存在は重要です。この式典を通してその意義を再確認し会える良い機会になったと思います。次は30周年に向けてみんなでがんばりましょう。



記念講演の藤井氏



和やかなパーティー会場

クリスマスパーティー

今年も恒例のクリスマスパーティーが、12月10日（日）なすびの里をお借りして盛大に開催されました。

川俣君の司会でパーティーのはじまり・・・“いちごの夏”のオカリナ演奏、“コア・アカラ・プラス”のウクレレ演奏とフラダンスに続きみんながとっても楽しみにしているケーキコンテスト。各テーブルでは思い思いのケーキが出来上がりました。

その間、生活介護の部屋や庭では、お父さんやお母さんたちが朝早くからお料理の準備をしています。今年のメニューは・・・ビーフシチュー、から揚げ、焼肉、お赤飯、焼きうどん、カナッペ、果物の盛り合わせなどなどです。

ケーキづくり・会食が終わり、お腹もいっぱいになったところでメインイベントのプレゼントコーナー・・・毎年、星さんの趣向を凝らしたプレゼントが大好評で一番の人気です。薄田サンタクロースより銘々お菓子の入った袋をもらいその中に運命の番号札が入っています。事務局長の中山さんが当たり番号札を読み上げるとワーッと歓声が上がりました。入浴剤、ハンカチ、オルゴール、ぬいぐるみ等々次々に当選者に渡っていきます。ちなみに1等商品は空気清浄機・渡部施設長が当りました。特賞は折りたたみ式自転車・生活介護の小嶋君でした。何も当らなかった人は来年に望みつないでいました。

悲喜こもごものプレゼントコーナーが終わり、最後に仲間たち全員による「この手をとりあって」の歌で無事お開きとなりました。

毎年参加して下さるオカリナのみなさんやフラダンスの方々には、お料理のお手伝いや仲間たちの食事の手助けもして頂きました。有難うございました。また、パーティーの費用の一部は栃木市社会福祉協議会の歳末たすけあい運動の補助金を充てています。

参加された皆さんお疲れ様でした。また、来年も楽しみにしててください。



収益事業報告

人形まつり (5月4~5日)	12,200円
あじさいまつり (8月12~13日)	13,400円
なすびの里まつり (7月29日)	5,332円
栃木夏まつり (8月5~6日)	58,512円
まつりつくば (8月26~27日)	29,546円
しらすぎまつり (9月11日)	19,351円
ふれあいのつとめ (10月23日)	169,263円
栃木秋まつり (11月5日~6日)	30,059円

今後の行事予定

1月20・21日 妙唱寺大黒天

編集後記

みなさん、あけましておめでとうございます。今年もはばたけをどうぞよろしくおねがいいたします。

先日、某全国紙に「自立支援法ができたおかげで、仲間の工賃確保に多くの施設が取り組みをはじめた。支援法の功績だ。」との社説が大きく載っていました。政治的政策的観点から書かれた内容は、実態から大きくかけ離れ違和感を持つ内容でしたが、動機はいずれにせよ“少しでも多くの給料を”という願いはすべての仲間に共通なのでは。

私事ですが最近職場で、なすびのパン・うどんの共同購入を始めました。私がお願いして始めたわけではなく、「なすびのパンがほしい」という職場の声で始めたものです。配達の日みんなパンが届くのを楽しみに待っていて、休みや明けの人はわざわざ取りにくるほどです。福祉だから買うのではなくおいしいから買うのでしょう。なすびの仲間には是非自信とやりがいを持ってほしいと思います。自分達で作ったものをたくさんの方が楽しみにしていること、おいしいと言って喜んでくれることに。(H)

会費納入のお願い

本年度(2006年度 2006年4月~2007年3月)の会費が未納の会員の方は、納入いただけますようお願いいたします。会費の納入は、直接事務局または役員にお渡しいただくか、同封の振込用紙にてお振込みください。よろしくお願いいたします。